

	4月1日現在	前月との比較	前年との比較
人口総数	24,598人	△49人	+227人
男	12,428	△18	+170
女	12,570	△31	+57
世帯数	6,755世帯	△11世帯	+34世帯

(人口統計より)

年内完成めざし

衛生センター工事急ピッチ

去り豊か生活環境を都市機能をなした町つりをさへ、金庫の朋
 待と関心なで、昨年十一月十日、衛生セブン1期式を行はし
 が、その後、建群事は中興の木匠の現勢、本年二月中旬出版を目
 標に編輯進められ、日曜にその機を早めてきて、ますが、四月下旬
 去り基杭杭打事が開始され、工事全体が計画おひ得して、ます

地質調査の

ボーリング
起工式後ただちに地質調査を開始しました。

ゴミとし尿の処分

なものです。
建設用地内の九か所にボーリングを行ない、地盤の地質及び地耐力を調査しました。
この調査のデータをもとにして擁壁、施設本体、搬入路等の細部にわたる設計図の完成が近づいています。

が、ゴミの分別収集を徹底す

し尿処理施設で、もっとも重要な役目をはたす希釈水は、地下水を利用するため、十二月四日、用地内に井戸掘りの工事を開始、三月二十日、揚水設備の据つけを完了しました。

敷地造成にいま一歩

— 仮祢町立第三小工事

仮称町立第三小学校の建設工事は、一月十二日の起工式後、山西釜野地区の現場では、樹木の伐採や進入路、排水路の工事を行います。

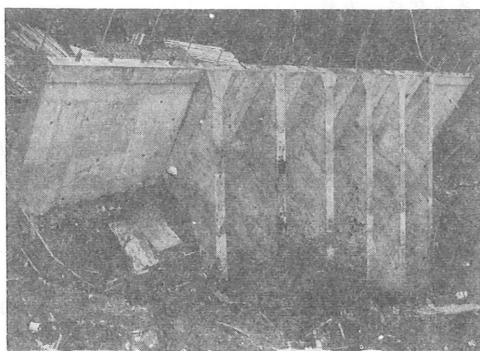
した。
二月からはブルドーザーによる
整地作業。三月末には残土の運搬
が始つています。
残土の処理は、造成敷地内より
町道四〇号線（獅子岩線）を経由
して、川勾神社前の窪地へ大型ダ
ンプ車で運搬しています。



地びき網——ゴールデンウィークの袖が浦海岸は釣り客、地びき網客で大にぎわい
気になるのは“戦果”、網を引く手に力はいる。

仮設道路工事

進んでいます。
コンクリート擁壁の建設は二月
トル、高さ九・四メートルという
もので、コンクリート四四〇立方
メートルが投下され、さながら宛
電所のダムを想像させる、大きく
どっしりとしたものです。



ダムを思わせる擁壁

機械工事

衛生シッター建設事業の第一期(昭和三十五年度分)としては、前述の土地造成工事のほかは機械、主なものには、取集した屑中の夾雑物、鐵雜類、ビニール、ゴム、プラスチック類、その他(前処理なし)をとり除く装置の前処理機、脂質処理を行う水浴脱脂機、アルカリ脱臭機があり、その他の処理工程のポンプ類など、すべてを稼取し、建設完成まで大切に保管されています。

内藤農委会長退任
新会長に原利男氏

第三小の名前

さる一月、仮称町立第二小学校校名を募集しました。その結果、六十七名の力があったよ。四十三名おりの名前が寄せられました。

名前の選定について第二小建設委員会と教育委員会とでいろいろ協議がなされましたが、決定にたけませんでした。

お応答各位には、まことに申し訳ございませんが、いましばらくお待ちください。



内藤前会長



原 新会長

四月十三日、内藤邦治・宮野睦
委員会会長が任期満了により退
されました。

内藤前会長は昭和二十九年以來
十七年間にわたり農業委員会
員をつとめ、昭和四十七年から
会長として、また、神奈川県農
業会議員として、農業生産力の発
達、農業経営の合理化、農民の地
向上などに努力しました。

西暦一九三〇年、農業奉仕會の臨時總會は、原田男氏を新会長に指名し、
了。

原田新会長は、昭和三十八年農業委員會の臨時總會で、昭和三十八年農業委員會に選出と同時に同年会長に任ぜられ、以来昭和四十七年までの期九回連続して会長をつとめた。

原田新会長は、現在、都市計画審議会会長代行、下町区長との要請を兼ね、特に都市化のいちじるしい町で、今後の都市近郊農村の方向となる、豊かな緑地帯を擁するものと期待されている。

一宮町からスポーツ少年団が結成されたのは、その年の夏が過ぎました。菊田時は貝川十名という団員も、野球の大きな組織で成長し、野球、剣道、卓球、バレーの各部に加えて、昨年末、鼓笛隊も新設されました。

俳句部の少年の女達が、健康で豊かな、興味持れる社会人になるこの基礎作りを、この団員に、大きくはたいいいます。

昭和四十二年、石川泉沢で開かれたこの長者会里一宮に終り住みしひきみ感にたて、豊かになった菊田時、當時はた、百が丘団地の造成が済んで、町とつづまりの地の輪切で、たそれなりに、色づくみで、つづまりと映く山が丘、ワラ喜き屋根の家々が新築へ映つたもので、

その後、一宮町の人口は倍増し、と驚きの庭がはい、供が自ら、非行に走る、供が自らつくものに、なりました。

「カキ子」この意識が、もはやわたれたその時です。

北海通にわたる私は、若い頃には全くで、金沢市では、在りた中、中は、自動車事故で、幾度か身体に被害をうける機会にましました。私にくこの身体は、何もかも優る健康な面ですし、人生にむける全部の意志を持に至るに過難でもありません。

スポーツのむたす吉とど喜び、その感激、不足なし、しかゆ俳句の、少女達に少しでも知せつてゐたい。健康な身体を、健全な精神を生み出すことを、このつては、い、そんなことを、スポーツ少年団結成で、達成した。

菊田以来、軌道にのるまま、この団員はありましたが、有る方の努力が実り、他に、この方の努力が実り、他に、この団でできるときに成長し、と、父兄の方のこの旨を、頂、なる、お、充実し活動、できる少部にした、と、考、て、

私自身、スポーツ少年団結成の間もなく、江戸なごで、まに、と、とり、た、まに、北に北海道の南は、日本、本、各、地、に、健、全、な、ア、ー、ド、レ、ッ、ス、の、こ、の、と、出、か、全、国、が、集、ま、つ、と、同、年、者、と、胸、こ、こ、と、盛、ん、に、な、つ、て、い、ま、す。し、ゆ、な、が、ら、創、作、の、苦、し、は、と、も、す、れ、走、る、と、を、兼、せ、た、な、る、勢、い、も、り、ま、が、勝、こ、の、の、の、い、思、い、若、者、に、全、打、つ、

六歳にわたつた「宮町ふた」のスポーツ少年も、フナ一ツの少年団も、もうナ一ツの私と同状況にあり、と、思、い、ま、す。

私自身、走り始めで五年、私、は、そ、ろ、ろ、ラ、ッ、ソ、ン、に、挑、戦、し、つ、と、勝、つ、た、ス、ポ、ー、ツ、少年団も、こ、れ、か、ら、大、き、く、開、進、す、る、切、な、時、が、来、る、と、思、い、ま、す。

次代を担ふ子供が、明、く、く、の、ゆ、や、に、し、か、力、強、く、長、る、と、す、。町、田、を、め、る、各、位、の、開、進、と、交、換、を、頂、く、な、が、ら、腹、か、く、見、つ、て、行、く、と、思、い、て、居、り、ま、す。

百合が三、二十、三、初、松田 宏

この方々は
松田です



684

